

## 火災安全－用語及び定義

*Fire safety Terminology and definitions*

本基準は、火災安全に関する用語及び定義を記述し、防災消防とその関連専門分野に関する研究・教育・産業・生活において共通適用する。

本基準にある各用語には、英語対訳が付与されている。

附録掲載の用語は、ベトナム語のアルファベット順で列挙されている。

用語	定義
1	2
	<b>1. 一般概念</b>
1. 1. 防災システム Fire prevention system	火災発生可能性の除外するためのあらゆる要件・措置・手段・方法の総称。
1. 2. 防火システム Fire protection	火災予防、延焼制限、消火確保並びに生命・財産の損失を最低限に制限することを図るために、あらゆる要件・方策・手段・方法の総称。
1. 3. 火災安全 Fire safety	組織的、技術的且つ科学技術的な解決策により、火災発生可能性を除外するとともに、火災発生の際は、その結果を抑制することを保障する製品・方法・生産設備や地域の状況と性質。
1. 4. 火災の兆候 Threat of fire	火災を直接的に引き起こす可能性によって特徴付けられる状況。
1. 5. 火災危険性 Fire hazard	物質本体、環境状況又はある過程における火災発生と火災拡大可能性。
1. 6. 避難 Evacuation	人間を危険な火災地域から経路を沿って安全地域まで避難させること。
1. 7. 避難計画 Evacuation Plan	避難経路や避難口を指導、火災地域から避難する際に人間の対処法や責任者の任務を規定した計画文書。
1. 8. 耐火材 Fire Protection	塗装・含浸又は化学反応を引き起こす事により、可燃性物質を燃やしづらくさせたり、可燃性を軽減させたりする物質。
	<b>2. 技術的な安全指数</b>
2. 1. 火災危険指数	標準実験の際、火災危険を測定するのに、特徴とする定量的な

Indexes of fire hazard	指数。
2.2. 引火温度 Flashing temperature	可燃性物質の最低温度。この温度では、当該物質の表面に蒸発する蒸気が空気と接触、混合物を生成し、点火源の影響が付いた場合、引火するがすぐ消える事。
2.3. 発火温度 Inflammation temperature	可燃性物質の最低温度。この温度では、点火源の影響が付いた場合、当該可燃性物質が炎を有する発火となり、点火源が無くても燃焼が継続する事。
2.4. 自然発火温度 Self-inflammation	可燃性物質の最低温度。この温度では、発熱反応速度が猛烈に増加する事により、炎を有する発火となる事。
2.5. 自焼温度 Self-baked temperature	可燃性物質の最低温度。この温度では、自焼過程が開始する事。
2.6. 発火の濃度限界 Limited concentration of inflammation	蒸気、ガス、燃える塵である可燃性物質と酸化物質との混合物は点火源の影響が付いた場合、発火可能となる。その混合物の中の当該可燃性物質の上限又は下限。
2.7. 発火温度限界 Limited temperature of inflammation	上限及び下限の発火温度に対応する発火温度限界。
2.8. 酸素限界 Oxygen limit	不活性物質と酸素との可燃混合物の中に、酸素濃度が当該濃度より低い場合、混合物の中の可燃物の濃度がいずれにしても、発火とならない事。
2.9. 全焼速度 Burning out speed	一定の時間単位で一定の表面単位に当たり、全焼された可燃物の重量若しくは体積。
2.10. 延焼速度 Fire spreading speed	一定の時間単位に当たり、炎が水平にまたは垂直に広げる距離。
2.11. 体積あたり消化するのに最低限消火濃度 Minimum concentration of fire extinguishing substance in volume	体積あたり消火する際、可燃物の拡散する炎を十分に消火するのに、空気の中に燃焼してある可燃物の最低限消火濃度。
2.12. 不活性物質の最低限濃度 Minimum concentration of inert substance	不活性物質と可燃物との混合物を十分に燃焼不可能にするために、当該不活性物質の最低限濃度。
3.1. 発火	<p style="text-align: center;"><b>3. 発火構造</b></p> 点火源の影響により、火災が発生すること。

Inflammation	
3. 2. 発火可能性	可燃物の具体的な存在条件における当該可燃物の発火可能性。
Inflammability	
3. 3. 発火可能性の高い物質	低エネルギーを有する点火源の瞬間的な影響により、発火となる物質。
Substance with high inflammation	
3. 4. 発火可能性の低い物質	高エネルギーを有する点火源の影響又は長い時間にわたって点火源の影響のみにより、発火となる物質。
Substance with low inflammation	
3. 5. 点火	可燃物に対する外部点火源の影響により、発火となる事。
Firing	
3. 6. 点火源	物質の発火を引き起こすエネルギー。
Firing source	
3. 7. 発火範囲	発火濃度範囲。この範囲では、可燃物と酸化物質との混合物は、点火源の影響がある場合、発火となり、混合物の中に自然に延焼する事。
Inflammation zone	
3. 8. 自焼	物質の熱蓄積に適した存在条件と伴って、物質内部の発熱する化学. 物理. 生物学過程により、物質の温度増加のこと。
Self-baking	
3. 9. 自然燃焼	外部のエネルギーの影響ではなく、物質内部に於ける化学反応により熱増加により、発火となる。
Self-burning	
3. 10. 発火性物質	外部のエネルギーの影響がないと断定される条件により、自然に発火となる物質。
Self-burning substance	
3. 11. 熱分解	熱増加により、非可逆化学反応。
Pyrolysis	
<b>4. 燃焼過程</b>	
4. 1. 燃焼	酸化. 発熱及び発光を伴う化学反応。
Burning	
4. 2. 可燃性	物質の存在条件に於ける当該物質の可燃性。
Combustibility	
4. 3. 可燃性物質	点火源の影響により、発火となり、くすぶり、又は炭化し、点火源が無くしてからも燃焼が継続する物質。
Combustible substance	
4. 4. 難燃性物質	点火源の影響により、発火となり、くすぶり、又は炭化するが、点火源が無くしてからは燃焼が継続できない物質。
Uninflammable substance	
4. 5. 不燃性物質	点火源の影響により、発火とならず、くすぶらず、又は炭化しない物質。
Incombustible substance	
4. 6. 火	発光を伴う燃焼現象を表す外見。



Fire localization	拡大防止活動のこと。
6.4. 消火剤	火災を食い止め、消化する条件を整えるために物理. 化学性質
Fire extinguishing agent	を有する物質のこと。
6.5. 消防方法	延焼防止. 消火を図るためために、消火剤と共に必要となる設
Method of fire fighting	備及び他の設備を利用する方法のこと。
6.6. 消防給水	消防を図るため用水を貯蓄・輸送する対策及び装置. 道具の総
Fire fighting water supply	合。

## TCVN 5303:1990 の付録

用語はベトナム語のアルファベット順で並んである。

An toàn cháy	火災安全	1.3
Cấp nước chữa cháy	消防給水	6.6
Chất dễ cháy	可燃性物質	4.3
Chất chống cháy	耐火材	1.8
Chất dập cháy	消火剤	6.4
Chất khó cháy	難燃性物質	4.4
Chất khó bốc cháy	発火しにくい物質	3.4
Chất không cháy	不燃性物質	4.5
Chất tự cháy	発火性物質	3.10
Chữa cháy	消防	6.1
Dập tắt hoàn toàn đám cháy	完全消火	6.2
Đám cháy	火災	5.2
Giới hạn nhiệt độ bốc cháy	発火温度限界	2.7
Giới hạn nồng độ bốc cháy	発火の濃度限界	2.6
Giới hạn Oxy	酸素限界	2.8
Hạn chế sự phát triển của đám cháy	火災成長の抑制	6.3
Hệ thống chống cháy	防火システム	1.2
Hệ thống phòng cháy	防災システム	1.1
Kế hoạch thoát nạn	避難計画	1.7
Khói	煙	1.14
Lửa	火	4.6
Ngọn lửa	炎	4.7
Nguồn gây cháy	点火源	3.6
Nguy cơ cháy	火災の危険な兆候	1.4
Nguy hiểm cháy	火災危険	1.5
Nguyên nhân gây ra đám cháy	火災原因	5.5
Nhiệt độ bốc cháy	発火温度	2.3
Nhiệt độ bùng cháy	引火温度	2.2
Nhiệt độ tự bốc cháy	自然発火温度	2.4
Nhiệt độ tự nung nóng	自焼温度	2.5
Nồng độ dập tắt nhỏ nhất của chất dập cháy theo thể tích	体積にあたり消化するのに最低限消 化濃度	2.11

Nồng độ nhỏ nhất của chất tro	不活性物質の最低限濃度	2.12
Phương pháp chữa cháy	消防方法	6.5
Sản phẩm cháy	燃燒性生物	4.13
Sự bốc cháy	発火	3.1
Sự cac bon hóa	炭化	4.11
Sự cháy	燃燒	4.1
Sự cháy âm ỉ	燻る様子	4.10
Sự cháy hoàn toàn	完全燃燒	4.12
Sự đốt cháy	燃やすこと	5.11
Sự gây cháy	点火	3.5
Sự lan truyền đám cháy	延焼	5.3
Sự nhiệt phân	熱分解	3.11
Sự nung sáng	白熱	4.9
Sự phát triển đám cháy	火災拡大	5.4
Sự thoát nạn	避難	1.6
Sự tự nung nóng	自焼	3.8
Tia lửa	火花	4.8
Tính bốc cháy	発火可能性	3.2
Tính cháy được	可燃性	4.2
Thiệt hại do đám cháy	火災損害	5.6
Tốc độ cháy hoàn toàn	完全燃燒速度	2.9
Tốc độ lan truyền đám cháy	延焼速度	2.10
Tự cháy	自然発火	3.9
Vùng bốc cháy	発火地域	3.7